

さび止め塗料シリーズ

さび反応形 さびストップシリーズ

弱溶剤系 1液ワイドさびストップ

弱溶剤系 ワイドさびストップ

溶剤系 さびストップ

水系 アクアさびストップ

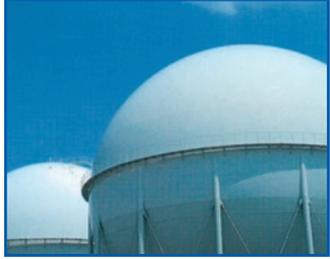
弱溶剤系 エポマイルド

溶剤系 エポプラ

水系 水性ラスノンEPO

弱溶剤系 速乾ラスノン5621

弱溶剤系 速乾ラスノン



目次

さびストップシリーズ	
さび反応形 弱溶剤系1液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料	
 1液ワイドさびストップ	3
さびストップシリーズ	
さび反応形 弱溶剤系2液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料	
 ワイドさびストップ	5
さびストップシリーズ	
さび反応形 溶剤系2液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料	
 さびストップ	7
さびストップシリーズ	
さび反応形 水系2液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料	
 アクアさびストップ	9
弱溶剤系1液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料	
 エポマイルド	11
溶剤系1液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料	
 エポプラ	13
水系1液反応硬化形エポキシ変形アクリル樹脂系さび止め塗料	
 水性ラスノンEPO	15
JISK5621一般用さび止めペイント2種	
 速乾ラスノン5621	17
一般用さび止めペイント〈小面積用〉	
 速乾ラスノン	18

さびストップシリーズ

さび反応形 弱溶剤系1液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料

1液ワイドさびストップ

特殊変性エポキシ樹脂とさび転換補助剤により、強力にさびの進行を防ぐさび止め塗料です。特に、ケレンしにくい部分などに残存するさびの影響を受けにくい設計の塗料です。

特長

■ さび転換補助剤配合

さびに含まれる「水分」「鉄イオン」と化学反応し、さびを安定な状態に転換し、さびの発生を抑制します。

■ 防せい性

塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。

■ 1液・指定可燃物

一液で指定可燃物ですから保管・取扱い面で有利です。

■ 乾燥性

速乾性ですので、3時間（23℃）のインターバルで上塗りができます。

■ 付着性

素材及び旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。トタンやアルミなどの非鉄金属にもご使用いただけます。

■ 旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させにくく、安心して塗装できます。

■ 上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

■ 厚膜に塗装しやすい粘性設計

塗装時のたれやたるみを起こしにくい粘性設計ですので、簡単に厚膜塗装が可能です。

■ 低臭

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドです。

■ 安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

■ F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上げの制限を受けません。

■ JPMS28適合品

JPMS28 一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイントの品質規格（社内試験）に合格する性能です。

防せい性試験（サイクル腐食性試験）



2液形にせまる防せい力を発揮!!

- ・試験基材：さび残存鋼板（3種ケレン）
- ・試験条件：JIS K 5600-7-9 サイクルD 72サイクル（JIS K 5674の基準36サイクルの2倍）

サイクル腐食性試験72サイクル後の外観



1液ワイドさびストップ



合成樹脂系さび止め塗料

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき）・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材、塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、選用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポーレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSi など

水系：ユニシリーズ、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）・ビーズルーフシリーズ、アクアエポーレシリーズ、水性ベスコロSi など

注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

荷姿・色相

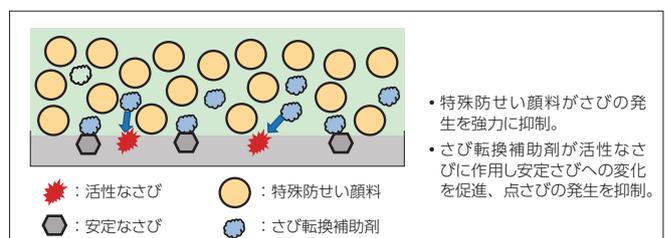
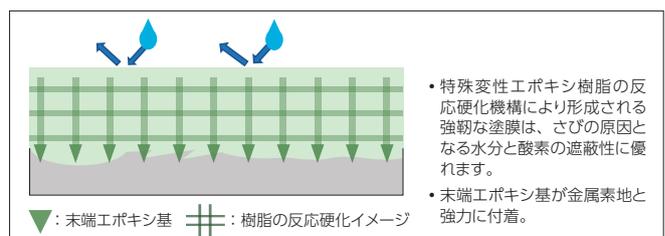
容量：16kg・4kg 消防法分類：指定可燃物 可燃性液体
色相：白・グレー・黒・赤さび色



白（日塗工N-93近似） グレー（日塗工N-70近似） 黒（日塗工N-25近似） 赤さび色（日塗工O9-30L近似）

※注）色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

防さび機構



塗膜性能

試験項目	結果	品質
容器の中の状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。
塗装作業性	合格	支障がない。
表面乾燥性	合格	表面乾燥する。
塗膜の外観	合格	正常である。
上塗り適合性	合格	支障がない。
付着安定性	合格	はがれを認めない。
耐塩水性	合格	異常がない。
付着性	合格	異常がない。
屋外暴露耐候性	合格	屋外暴露耐候性試験に耐える。

試験方法はJPMS28 1液形変性エポキシ樹脂さび止めペイントに準ずる。

試験項目	結果	試験方法
耐屈曲性	異常なし	JIS K 5674 7.10による φ6mm
耐衝撃性	異常なし	JIS K 5600-5-3デュポン式による 500g 200mm
耐水性	異常なし	JIS K 5600-6-2による 素材：軟鋼板 浸漬144時間
加熱残分 (%)	69.0	JIS K 5674 7.13による
塗膜中の鉛 (%)	0.06以下	JIS K 5674 7.14による (0.06以下)
塗膜中のクロム (%)	0.03以下	JIS K 5674 7.15による (0.03以下)
防せい性	異常なし	JIS K 5674 7.16による屋外暴露24ヵ月

試験方法はJIS K 5674 鉛・クロムフリーさび止めペイント等に準ずる。

標準塗装仕様 (オール弱溶剤系塗料による塗装仕様)

● 鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……アクリルシリコン樹脂仕上げ

■ 素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種)					
下塗り	1液ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.12~0.18	1~2	3時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウォールSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工 程 内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、ユニシリーズ、アクアエポレシリーズ、ビーズコート(無機・F・Si)などの塗装も可能です。
- 溶剤系塗料のエポレなどを塗装する場合、被塗面が素地、又は耐溶剤性が良い既存塗膜面であることを確認してください。塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。
- 水系塗料を塗装する場合は、塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。

● 屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

■ 素地：亜鉛鉄板・カラートタン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 ● 素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	1液ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.12~0.18	1~2	(工 程 内) 16時間以上 (工 程 間) 16時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレSi 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ルーパリアシリーズ、アクアエポレシリーズ、ビーズブルーシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。
- 溶剤系塗料のエポレを塗装する場合、被塗面が素地又は、耐溶剤性が良い既存塗膜であることを確認してください。
- エアレス条件(一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■ さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

- 1液ワイドさびストップの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.12~0.18kg/m²)を塗装して膜厚(35~50μm)を確保してください。エッジ部、凹凸面(40μm以上)、さびが発生していた面などは1液ワイドさびストップを増し塗りしてください。
- 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。
- 公共建築(改修)工事標準仕様書における亜鉛めっき鋼面さび止め塗料塗りのJPMS28 1液形変性エポキシ樹脂さび止めペイントとして使用する場合は、標準塗付量0.10kg/m²/回、標準膜厚30μmになります。

塗装基準

項目	内容	
乾燥時間	5℃	指触40分、硬化4時間
	23℃	指触30分、硬化2時間
	35℃	指触20分、硬化1時間
塗装間隔※	5℃	8時間以上
	23℃	3時間以上
	35℃	2時間以上

※乾燥時間は標準の数値です。塗装方法・塗装条件により多少の幅を生じることがあります。塗装間隔は弱溶剤系塗料が塗装可能な時間の目安です。(屋根塗装の場合は異なります。)

項目	内容
標準塗付量	0.12~0.18kg/m ² /回
標準膜厚	35~50μm
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希 釈	塗料用シンナー 0~5%

さびストップシリーズ

さび反応形 弱溶剤系2液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料

ワイドさびストップ

特長

■ さび転換補助剤配合

さびに含まれる「水分」「鉄イオン」と化学反応し、さびを安定な状態に転換し、さびの発生を抑制します。

■ 防せい性

エポキシ樹脂とアミンの反応硬化機構により形成される強靱な塗膜は、さび発生の要因となる水分と酸素の遮蔽性に優れ、さびの発生を抑制します。
塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。

■ 素地調整費の低減

浸透性に優れ、3～4種程度のケレンで塗装できますので、素地調整費用の低減、塗装工期の短縮が図れます。

■ 付着性

素材及び旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。
トタンやアルミなどの非鉄金属にもご使用いただけます。

■ 旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させにくく、安心して塗装できます。

■ 上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

■ 厚膜に塗装しやすい粘性設計

塗装時のたれやたるみを起こしにくい粘性設計ですので、1回塗りで50～70 μ mの厚膜塗装が可能です。

■ 低臭

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドです。

■ 安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

■ F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上げの制限を受けません。

■ JASS 18 M-109適合品

JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系変形エポキシ樹脂プライマーに相当する性能です。

防せい性試験（サイクル腐食性試験）

- ・ 基材：さび残存鋼板（4種ケレン）
- ・ 試験条件：JIS K 5600-7-9 サイクルD 100サイクル



ワイドさびストップ



2液形さび止め塗料



1液形さび止め塗料

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき）・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼板は、1ヶ月以上暴露し、素材表面をディスクサンダー（研磨紙P120～240）にて入念に研磨し、白さびを除去してください。

艶が残っている場合は塗装を避けてください。

塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、選用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSiなど

水系：ユニシリーズ、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）・ビーズルーフシリーズ、アクアエポレシリーズ、水性ベスコロSiなど

注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

荷姿・色相

容量：16kgセット（主剤14.4kg 硬化剤1.6kg）

4kgセット（主剤 3.6kg 硬化剤0.4kg）

色相：白・グレー・黒・赤さび色



白（日塗IN-93近似） グレー（日塗IN-67近似） 黒（日塗IN-25近似） 赤さび色（日塗I09-40L近似）

※注）色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

塗膜性能

試験項目	結果	品質規格
容器の中の状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。
半硬化乾燥性	合格	標準16時間以内、低温24時間以内
塗装作業性	合格	支障がない。
ポットライフ	合格	5時間後、使用できる。
たるみ性	合格	たるみがない。
上塗り適合性	合格	支障がない。
耐おもり落下性	合格	割れ及び剥がれがない。
付着性	合格	分類1又は0
耐アルカリ性	合格	5%NaOH水溶液浸漬で異常がない。
耐熱性	合格	外観が正常である。試験後の付着試験で分類2、分類1又は分類0

試験項目	結果	品質規格
サイクル腐食性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。
塗膜中の鉛 (質量分率%)	配合せず	0.06以下
塗膜中のフロム (質量分率%)	配合せず	0.03以下
屋外暴露耐候性	合格	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない。

試験方法はJIS K 5551構造物用さび止めペイントC種に準じる

標準塗装仕様 (オール弱溶剤系塗料による塗装仕様)

● 鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……アクリルシリコン樹脂仕上げ

■ 素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種)					
下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.18~0.24	1~2	8時間以上 1か月以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウォールSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工 程 内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

● 上塗りには、ワイドエポレーシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、ユニシリーズ、アクアエポレーシリーズ、ビーズコート(無機・F・Si)などの塗装も可能です。

● 屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

■ 素地：亜鉛鉄板・カラータン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 ● 素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.18~0.24	1~2	(工 程 内) 16時間以上 (工 程 間) 16時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレーSi 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

● 上塗りには、ワイドエポレーシリーズ、ルーフバリアシリーズ、アクアエポレーシリーズ、ビーズブルーフシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。

● エアレス条件(一般建築塗装用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■ さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■ ワイドさびストップの塗付量が少なく、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.18~0.24kg/m²)を塗装して膜厚(50~70μm)を確保してください。エッジ部、凹凸面(40μm以上)、さびが発生していた面などは1液ワイドさびストップを増し塗りしてください。

■ 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

■ 亜鉛めっき面に塗装する場合は標準塗付量0.14~0.24kg/m²/回、標準膜厚40~70μm/回となります。

■ 公共建築改修工事標準仕様書などにおけるJASS 18 M-109規格の下塗りとして使用する場合は、標準塗付量0.14kg/m²/回、標準膜厚40μm/回となります。

■ 溶剤系塗料のエポレーなどを塗装する場合、被塗面が素地、又は耐溶剤性が良い既存塗膜面であることを確認してください。

屋根以外でも塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。

■ 水系塗料を塗装する場合は、塗装間隔を24時間~7日間(23℃)としてください。

塗装基準

項目	5℃	10℃	23℃	30℃
可使時間	10時間	7時間	5時間	2.5時間
指 触	4時間	2時間	1.5時間	1時間
硬 化	24時間	20時間	12時間	8時間
塗装間隔	24時間~1ヵ月	16時間~1ヵ月	8時間~1ヵ月	6時間~1ヵ月

※乾燥時間は標準の数値です。塗装方法・塗装条件により多少の幅を生じることがあります。塗装間隔は弱溶剤系塗料が塗装可能な時間の目安です。(屋根塗装の場合は異なります。)

項目	内 容
標準塗付量	0.18~0.24kg/m ² /回
標準膜厚	50~70μm
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希 釈	塗料用シンナー 0~5%

さびストップシリーズ

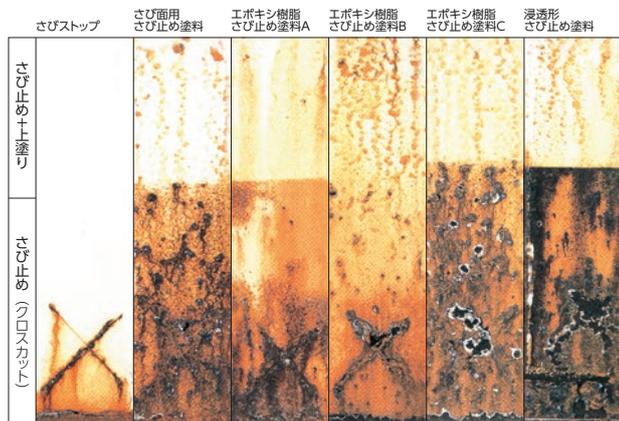
さび反応形 溶剤系2液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料

さびストップ

特長

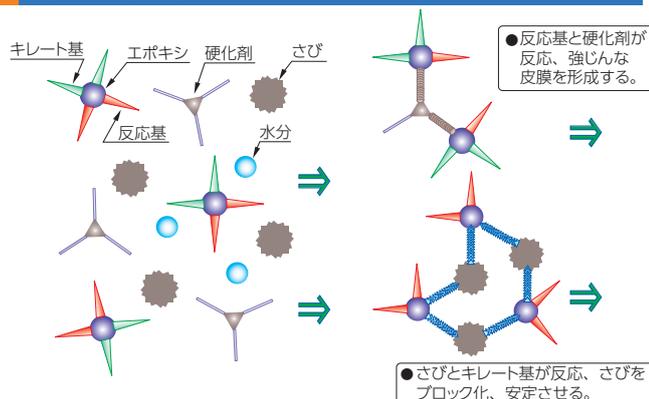
- **さびと反応し安定化** さびに含まれている「水分」「鉄イオン」と化学反応し、さびを安定な状態に転換します。
- **素地調整費の低減** 浸透性に優れ、3~4種程度のケレンで塗装できますので、素地調整費用の低減、塗装工期の短縮が図れます。
- **防せい性** エポキシ樹脂とアミンの反応硬化機構により形成される強靱な塗膜は、さび発生の要因となる水分と酸素の遮蔽性に優れ、さびの発生を抑制します。塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。
- **乾燥性** 速乾性ですので、3時間（23℃）のインターバルで上塗りが可能です。
- **付着性** 素材及び旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。トタンやアルミなどの非鉄金属にもご使用いただけます。
- **上塗適合性** 各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。
- **厚膜に塗装しやすい粘性設計** 塗装時のたれやたるみを起こしにくい粘性設計ですので、1回塗りで50~70μmの厚膜塗装が可能です。
- **安全性** 鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。
- **F☆☆☆☆** ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上げの制限を受けません。
- **JASS 18 M-109適合品**
JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー及び弱溶剤系変形エポキシ樹脂プライマーに相当する性能です。

防せい性試験（塩水噴霧試験）



・試験基材：さび残存鋼板（4種ケレン） ・試験条件：塩水噴霧 3,000時間

防さび機構



特殊変性さび転換形エポキシ樹脂がさびと反応し、強力に固定化するさび止め塗料です。
3~4種ケレン面への塗装が可能になり、作業効率が向上します。

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき）・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材は、1ヶ月以上暴露し、素材表面をディスクサンダー（研磨紙P120~240）にて入念に研磨し、白さびを除去してください。
艶が残っている場合は塗装を避けてください。
塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、選用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSiなど

水系：ユニシリーズ、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）・ビーズルーフシリーズ、アクアエポレシリーズ、水性バスコロSiなど

注意：仕上塗材、クリヤーは塗装できません。

荷姿・色相

容量：14kgセット（主剤13kg、硬化剤1kg）

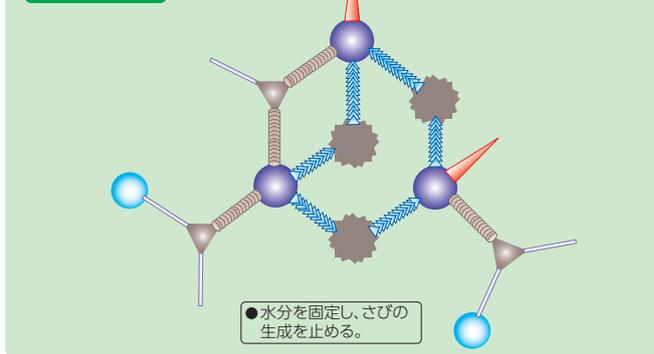
4kgセット（主剤3.7kg、硬化剤0.3kg）

色相：白・グレー・黒・赤さび色



白（日塗工N-93近似） グレー（日塗工N-70近似） 黒（日塗工N-25近似） 赤さび色（日塗工O7-50L近似）
※注）色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

最終塗膜



塗膜性能

試験項目	結果	規格・試験方法
容器の中での状態	合格	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。
乾燥時間 (h)	合格	16以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
ポットライフ	合格	5時間で使用できるものとする。
耐衝撃性	合格	衝撃による変形で、塗膜に割れ、はがれができないものとする。
上塗り適合性	合格	上塗りに支障があってはならない。
耐塩水性	合格	塩化ナトリウム溶液に浸しても異常があってはならない。

建築工事標準仕様書 塗装工事JASS18 M-109変性エポキシ樹脂プライマーに基づく試験結果

試験項目	試験結果	規格・試験方法
塗装作業性	合格	はけ塗りで塗装作業性に支障がないこと。
耐屈曲性	鋼板 合格	直径4mmの折り曲げに耐えること。
	亜鉛鉄板 合格	
付着性	鋼板 0	クロスカット法、2mm角25個カット。
耐中性塩水噴霧試験	鋼板 合格	5%食塩水噴霧、35℃、3000時間に耐えること。
	亜鉛鉄板 合格	
	さび面 合格	
耐水性	合格	水中浸漬14日間に耐えること。
耐酸性	合格	硫酸5%水溶液に7日間浸漬したとき異常がないこと。
耐アルカリ性	合格	飽和水酸化カルシウム水溶液に7日間浸漬したとき異常がないこと。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐えること。

標準塗装仕様

●素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整3種) 海浜地区、工業地帯、腐食が著しい地域では、さびを入念に除去し、素地をあらわす(JASS18鉄面素地調整2種)。 					
下塗り	さびストップ スズカシンナー #1000	100 0~5※	0.18~0.24	1~2	(工程内) 3時間以上 (工程間) 3時間以上 7日以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウォールSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、エポレ、ユニシリーズ、アクアエポレシリーズ、ビーズコート(無機・F・Si)などの塗装も可能です。
- 溶剤系塗料のエポレなどを塗装する場合、塗装間隔を8時間以上(23℃)取ってください。
- 水系塗料を塗装する場合、塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。
- ※塗装方法別の希釈率は下記「塗装基準」を参考にしてください。

●屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

●素地：亜鉛鉄板・カラータタン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 素地は十分に乾燥させる。 					
下塗り	さびストップ スズカシンナー #1000	100 0~5※	0.18~0.24	1~2	(工程内) 16時間以上 (工程間) 16時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレSi 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ルーフパリアシリーズ、エポレ、アクアエポレシリーズ、ビーズルーフシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。
- 本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。
- エアレス条件(一般建築塗装用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)
- ※塗装方法別の希釈率は下記「塗装基準」を参考にしてください。

(注) ■塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。
 ■さび面では、ボルト箇所、エッジ、ケレン後の段差など、十分被膜するまで、さびストップを増し塗りしてください。(2回塗り以上)
 ■さび面では、さびストップを無希釈で塗り、膜厚を確保してください。
 ■亜鉛めっき面に塗装する場合は、0.14~0.24(乾燥膜厚40~70μm)を塗りしてください。

塗装基準

●旧塗膜面にさびストップを塗装する場合

旧塗膜	放置日数	下塗り(さび止め)
エポキシ樹脂塗料	+ ※7日以上	+ さびストップ
ポリウレタン樹脂塗料	+ 5日以上	
合成樹脂調合ペイント・塩化ゴム樹脂塗料	+ 10日以上	
アクリルアルキド樹脂塗料	+ 1ヵ月以上	

塗装方法	はけ塗り	ローラー塗り	エアレス塗り
希釈剤	スズカシンナー #1000		
希釈率 (%)	0~5	0~5	5~10

●乾燥時間

気温(℃)	5	23	30
指触乾燥	1時間	30分	15分
半硬化乾燥	5時間	2時間	1時間

●可使用時間

気温(℃)	5	23	30
可使用時間	12時間	8時間	6時間

注1) 塗装条件によりニジミ、チヂミ現象が生じる場合がありますので、事前にテスト塗りで確認してください。
 ※P140~150程度のサンドペーパーで研磨後塗装してください。

さび反応形 水系2液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料

アクアさびストップ

人と地球にやさしい、次世代の環境負荷低減となる水性さび止め塗料です。形成される強靱な塗膜と、さび転換技術により、高い防せい性を有する塗料設計となっています。

特長

さび転換補助剤配合

さびに含まれる「鉄イオン」と化学反応し、さびを安定な状態に転換し、さびの発生を抑制します。

防せい性

エポキシ樹脂とアミンの反応機構により形成される強靱な塗膜は、さびの発生要因となる水分と酸素の遮蔽性に優れ、さびの発生を抑制します。

塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。

水性・低臭

従来の溶剤系塗料に比べて、大幅に揮発性有機化合物や環境汚染物質の排出を削減することで、大気汚染や光化学スモッグなどの発生要因を抑制し、地球環境への負荷低減、環境配慮に繋がります。水性ですので低臭です。

乾燥性

速乾性ですので、3時間（23℃）のインターバルで上塗りができます。（屋根塗装の場合は塗装間隔を16時間以上確保してください。）

付着性

素材及び旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。トタンやアルミなどの非鉄金属にもご使用いただけます。

旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させることなく、安心して塗装できます。

上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

厚膜に塗装しやすい粘性設計

塗装時のたれやたるみを起こしにくい粘性設計ですので、簡単に厚膜塗装が可能です。

安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上げの制限を受けません。

JIS K5551 D種・E種

JIS K 5551構造物さび止めペイントD種・E種の品質規格に相当する塗膜性能です。

防せい性試験（サイクル腐食性試験）

下塗（さび止め塗料）膜厚：35μm



下塗 アクアさびストップ
上塗 アクアエポレSi

2液弱溶剤さび止め塗料
2液弱溶剤塗料

1液弱溶剤さび止め塗料
1液弱溶剤塗料

下塗（さび止め塗料）膜厚：60μm



下塗 アクアさびストップ
上塗 アクアエポレSi

2液弱溶剤さび止め塗料
2液弱溶剤塗料

1液弱溶剤さび止め塗料
1液弱溶剤塗料

・試験基材：軟鋼板
・試験条件：JIS K 5600-7-9 サイクルD 120サイクル

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき）・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材は、1ヶ月以上暴露し、素材表面をディスクサンダー（研磨紙P120～240）にて入念に研磨し、白さびを除去してください。

艶が残っている場合は塗装を避けてください。

カラートタンは付着しづらいものがある為、表面を目粗し後、試験塗装を行い密着性を確認してから本塗装してください。

塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、選用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポーレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSiなど

水系：ユニシリーズ、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）・ビーズルーフシリーズ、アクアエポーレシリーズ、水性ベスコロSi など

注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

荷姿・色相

容量：16kgセット（主剤15kg・硬化剤1kg）

色相：白・グレー



白

グレー

（日塗IN-93近似） （日塗IN-80近似）

※注）色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

塗膜性能

品質項目	品質	アクアさびストップ	
		D種	E種
容器の中の状態	かくはんしたとき、堅い塊がなくて一様になる	合格	合格
低温安定性(-5℃)	変質しない		
半硬化乾燥性	半硬化乾燥している		
塗装作業性	支障がない		
塗膜の外観	正常である		
ポットライフ	3時間		
たるみ性	たるみがない	-	
上塗り適合性	支障がない	合格	
耐おもり落下性	割れ及び剥がれがない		

品質項目	品質	アクアさびストップ	
		D種	E種
付着性	D種：分類0	合格	
	E種：分類1または分類0		
耐熱性	塗装の外観	-	合格
	付着性		
サイクル腐食性	さび、膨れ、割れ及び剥がれがない	合格	
塗膜中の鉛の定量	0.06以下		
塗膜中のクロムの定量	0.03以下		
屋外暴露耐候性	さび、膨れおよび割れがない		

JIS K 5551構造物用さび止めペイントD種・E種の品質規格に準じる

標準塗装仕様（オール水系塗料による塗装仕様）

●鉄鋼構造物・ダクト・パイプ

■素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	●ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種)					

●下塗〈標準形 膜厚：35μm〉

下塗り	アクアさびストップ 清水	100 0~5	0.10~0.12	1	3時間以上7日以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
-----	-----------------	------------	-----------	---	-----------	-----------------------

●下塗〈厚膜形 膜厚：60μm〉

下塗り	アクアさびストップ 清水	100 0~5	0.18~0.20	1	8時間以上7日以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
-----	-----------------	------------	-----------	---	-----------	-----------------------

上塗り	アクアエポレーシ리즈 清水	100 0~15	0.12~0.14	2	(工 程 内) 3時間以上 7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
-----	------------------	-------------	-----------	---	--	-----------------------

●上塗りには、ワイドエポレーシ리즈、ワイドシ리즈、1液ワイドウォールシ리즈、1液ワイドシ리즈、1液ワイドビーズコートSi、ユニシ리즈、ビーズコート(無機・F・Si)などの塗装も可能です。

●屋根

■素地：亜鉛鉄板・カラートタン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	●素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。 油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 ●素地は十分に乾燥させる。					

●下塗〈標準形 膜厚：35μm〉

下塗り	アクアさびストップ 清水	100 0~5	0.10~0.12	1	16時間以上7日以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
-----	-----------------	------------	-----------	---	------------	-----------------------

●下塗〈厚膜形 膜厚：60μm〉

下塗り	アクアさびストップ 清水	100 0~5	0.18~0.20	1	16時間以上7日以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
-----	-----------------	------------	-----------	---	------------	-----------------------

上塗り	アクアエポレーシ리즈 清水	100 0~15	0.12~0.14	2	(工 程 内) 8時間以上 7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
-----	------------------	-------------	-----------	---	--	-----------------------

●上塗りには、ワイドエポレーシ리즈、ワイドルーフシ리즈、1液ワイドルーフセラシ리즈、ルーバリア水性シ리즈、ビーズルーフシ리즈、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。

本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。

●溶剤系塗料のエポレーシを塗装する場合、被塗面が素地又は、耐溶剤性が良い既存塗膜であることを確認してください。

●エアレス条件(一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■アクアさびストップの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.10~0.20 kg/m²)を塗装して膜厚(35~50μm)を確保してください。
エッジ部、凹凸面(40μm以上)、さびが発生していた面などはアクアさびストップを増し塗りしてください。

■塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

塗装基準

気温(℃)	5~15	15~25	25~35
可使時間(h)	8	3	2

項目	内容
標準塗付量	0.10~0.20kg/m ² /回
標準膜厚	35~50μm
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希 釈	清 水 0~5%

弱溶剤系1液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料

エポマイルド

特長

防せい性

塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。

1液・指定可燃物

1液形ですので可使時間がなく、また2液形塗料のような塗装間隔に制限がありません。指定可燃物ですから保管・取扱い面で有利です。

乾燥性

速乾性ですので、3時間（23℃）のインターバルで上塗りができ、工期が短縮できます。

付着性

これまでの2液形エポキシ樹脂に匹敵する付着性で強靱な塗膜を形成します。

旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させにくく、安心して塗装できます。

上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

塗装しやすい粘性設計

無希釈で塗装でき、一定の膜厚が確保できます。

低臭

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドです。

安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆、内装仕上げの制限を受けません。

JPMS28適合品

JPMS28 一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイントの品質規格（社内試験）に合格する性能です。

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき）・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材、塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、選用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポーレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSiなど

水系：ユニシリーズ、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）、ビーズルーフシリーズ、水性ベスコロSiなど

注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

荷姿

容量：16kg・4kg（エクセルブラウン・セピアグリーン・ルーフブラック・ルーフブラウンは16kgのみ）

色相

色相：白・グレー・黒・赤さび色・エクセルブラウン・セピアグリーン・ルーフブラック・ルーフブラウン



白

（日塗工N-93近似）

グレー

（日塗工N-80近似）

黒

（日塗工N-25近似）

赤さび色

（日塗工09-30L近似）

エクセルブラウン

（日塗工09-30D近似）

セピアグリーン

（日塗工45-30B近似）

ルーフブラック

※（日塗工N-25近似）

ルーフブラウン

※（日塗工09-30D近似）

※注）色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。 ※ルーフブラック・ルーフブラウンは滑らかな表面により、乱反射を防止した、上塗りの艶向上タイプです。

性能比較試験

項目	塗料	エポマイルド	一液形エポキシ樹脂さび止め塗料	二液形高分子エポキシ樹脂さび止め塗料	試験方法
塗装作業性		○	□	□	JIS K 5674 7.6によるはけ塗り
表面乾燥性(h)	5℃	2	2	硬化せず	JIS K 5674 7.7による
	23℃	1	1	2	100μmアプリケーション塗布
塗膜の外観		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 7.8による
光沢(60度)		4.0	4.0	10.0	100μmガラス板塗布1日後測定
上塗り適合性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 7.9による
耐屈曲性		異常なし	われ発生	異常なし	JIS K 5674 7.10によるφ6mm
耐衝撃性		異常なし	われ発生	異常なし	JIS K 5600-5-3デュポン式による 500g 200mm
付着安定性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 7.11による
耐水性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600-6-2による 素材:軟鋼板 浸漬144時間
耐中性塩水噴霧試験	軟鋼板	○	□-△	○	JIS K 5600-7-1による 塩水噴霧 240時間 上塗り:1液ワイドウレタン
	亜鉛鉄板	○	○	○	
	さび面	○-□	△	○-□	
サイクル腐食性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 7.12による36サイクル

性能比較試験

項目	塗料	エポマイルド	一液形エポキシ樹脂 さび止め塗料	二液形高分子エポキシ 樹脂さび止め塗料	試験方法
加熱残分 (%)		68.0	66.0	78.0	JIS K 5674 7.13による
塗膜中の鉛 (%)		0.06以下	0.06以下	0.06以下	JIS K 5674 7.14による(0.06以下)
塗膜中のクロム (%)		0.03以下	0.03以下	0.03以下	JIS K 5674 7.15による(0.03以下)
防せい性 (%)		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 7.16による 屋外暴露24ヵ月
臭気		○→□	×	×	臭気による判定
希釈剤		(塗料用シンナー)	塗料用シンナー	エポキシシンナー	
希釈率		0%	20%	10%	
膜厚(μm)		40	21	35	0.14kg/m ² 塗付
たるみ性(μm)		175	150	200	塗装時の粘度
旧塗膜適合性		○	□	□	合成樹脂調合ペイント塗装2日後にさび止め塗装 ()内は、硬化剤の表示
消防法表示	危険物分類(第四類)	指定可燃物	第二石油類	第一石油類(第一石油類)	
	危険等級	可燃性液体類	危険等級Ⅲ	危険等級Ⅱ(危険等級Ⅱ)	
	有機溶剤区分	第三種	第三種	第二種(第二種)	

JIS K 5674 鉛・クロムフリーさび止めペイント等に準じる試験

優←○□△×→劣

標準塗装仕様 (オール弱溶剤系塗料による塗装仕様)

● 鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……アクリルシリコン樹脂仕上げ

■ 素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種)					
下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウォールSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工 程 内) 4時間以上 (工 程 間) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、ユニシリーズ、ビーズコート(無機・F・Si)などの塗装も可能です。(アクアエポレシリーズは塗装できません。)
- 溶剤系塗料のエポレなどを塗装する場合、被塗面が素地、又は耐溶剤性が良い既存塗膜面であることを確認してください。
- 塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。
水系塗料を塗装する場合は、塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。

● 屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

■ 素地：亜鉛鉄板・カラートタン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。 油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 ● 素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	(工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 16時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレSi 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

- 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ルーパリアシリーズ、ビーズルーフシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。
(アクアエポレシリーズは塗装できません。)
- 本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。
- 溶剤系塗料のエポレを塗装する場合、被塗面が素地又は、耐溶剤性が良い既存塗膜であることを確認してください。
- エアレス条件(一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■ さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■ エポマイルドの塗付量が少なると、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.12~0.16kg/m²)を塗装して膜厚(32~45μm)を確保してください。
エッジ部、凹凸面(40μm)、さびが発生していた面などはエポマイルドを増し塗りしてください。

■ 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

■ 公共建築(改修)工事標準仕様書などにおける亜鉛めっき鋼面さび止め塗料塗りのJPMS28 1液形変形エポキシ樹脂さび止めペイントとして使用する場合は、標準塗付量0.10kg/m²/回、標準膜厚30μmとなります。

塗装基準

項目	内容	
乾燥時間	5℃	指触40分、硬化4時間
	23℃	指触30分、硬化2時間
	35℃	指触20分、硬化1.5時間
塗装間隔※	5℃	8時間以上
	23℃	3時間以上
	35℃	2時間以上

項目	内容
標準塗付量	0.12~0.16kg/m ² /回
標準膜厚	32~45μm
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希 釈	なし

※乾燥時間は標準の数値です。塗装方法・塗装条件により多少の幅を生じることがあります。塗装間隔は弱溶剤系塗料が塗装可能な時間の目安です。(屋根塗装の場合は異なります。)

溶剤系1液反応硬化形エポキシ樹脂系さび止め塗料

エポプラ

特長

防せい性

JISK5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) と同等以上の防せい性を有しています。

1液形

1液形ですので可使時間がなく、また2液形塗料のような塗装間隔に制限がありません。

乾燥性

速乾性ですので、工期が短縮できます。

付着性

これまでの2液形エポキシ樹脂に匹敵する付着性で強靱な塗膜を形成します。

上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

塗装しやすい粘性設計

無希釈で塗装でき、一定の膜厚が確保できます。

安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

防せい性試験 (塩水噴霧試験)

下塗り	エポプラ	アルキド樹脂系さび止め	フェノール樹脂系さび止め
上塗り	2液形ポリウレタン樹脂塗料	合成樹脂調合ペイント	2液形ポリウレタン樹脂塗料
下塗り	2液形エポキシ樹脂系さび止め	1液形エポキシ樹脂系さび止め	
上塗り	2液形ポリウレタン樹脂系塗料	2液形ポリウレタン樹脂系塗料	
<p>・試験基材：軟鋼板 (脱脂) ・試験条件：塩水噴霧 (500時間) ・さび止め膜厚：34μm</p>			

下塗り	エポプラ	アルキド樹脂系さび止め	フェノール樹脂系さび止め
上塗り	2液形ポリウレタン樹脂塗料	合成樹脂調合ペイント	2液形ポリウレタン樹脂塗料
下塗り	2液形エポキシ樹脂系さび止め	1液形エポキシ樹脂系さび止め	
上塗り	2液形ポリウレタン樹脂系塗料	2液形ポリウレタン樹脂系塗料	
<p>・試験基材：さび残存鋼板 (2種ケレン) ・試験条件：塩水噴霧 (500時間) ・さび止め膜厚：34μm</p>			

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク (外面)・パイプ類・ダクトなど

注意：歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板 (溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき)・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材、塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、×カット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、選用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポーレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSiなど

水系：ユニシリーズ、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート (無機・F・Si)・ビーズルーフシリーズ、水性ベスコロSi など

注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

荷姿・色相

容量：15kg・4kg

色相：白・グレー・赤さび色



白 (日塗工N-93近似) グレー (日塗工N-80近似) 赤さび色 (日塗工09-30L近似)

※注)色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

適用法令情報

項目	内容
危険物分類	第四類 第二石油類
有機溶剤区分	第二種 有機溶剤等
有機溶剤	キシレン・エチルベンゼン

塗膜性能

項目	塗料	エポプラ	アルキド樹脂系 さび止め塗料	フェノール樹脂系 さび止め塗料	2液形エポキシ樹脂 さび止め塗料	1液形高分子エポキシ 樹脂さび止め塗料	備考
乾燥時間 (指触/硬化)		15分/3時間	3時間/8時間	1時間/5時間	50分/7時間	15分/2時間	膜厚/100 μ m (Wet) 指触/硬化時間 (23 $^{\circ}$ C)
可使時間		—	—	—	8時間	—	23 $^{\circ}$ C
光沢		21.0	16.0	11.0	13.2	45.4	60度鏡面光沢板度 膜厚100 μ m (Wet) 素材: ガラス
付着性		100/100	82/100	90/100	100/100	100/100	素材: 軟鋼板 基盤目付着試験 テープ剥離残数/カット数
耐屈曲性		異常なし	われ発生	われ発生	異常なし	異常なし	素材: 軟鋼板 180度折り曲げ4mm ϕ
耐衝撃性		異常なし	われ発生	われ発生	異常なし	異常なし	デュポン式 500g \times 40cm R=1/2
耐水性		異常なし	プリスター発生	ややプリスター発生	異常なし	異常なし	水中1ヶ月間 浸漬
耐塩水性		異常なし	プリスター発生	プリスター発生	異常なし	異常なし	5%塩化ナトリウム水溶液 14日間 浸漬
防せい性		異常なし	発錆	発錆	異常なし	異常なし	塩水噴霧試験500時間
膜厚(μ m)		34	30	26	35	25	塗布量 0.14kg/m ² /回の場合
流れ(μ m)		200	200	125	225	125	塗装時の粘度に調整 エポプラは無希釈
1日塗膜適合性		良好	良好	良好	良好	膨潤	旧塗膜: 合成樹脂調合ペイント 塗装1ヶ月後の塗膜

標準塗装仕様

● 鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……アクリルシリコン樹脂仕上げ

■ 素地: 鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23 $^{\circ}$ C)	塗装方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種) 発錆部はSSPC-SP3 (SIS3) まで除錆する。 					
下塗り	エポプラ	100	0.12~0.16	1~2	(工程内) 3時間以上 (工程間) 3時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウォールSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

● 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、ユニシリーズ、ビーズコート(無機・F・Si)、水性無機コートSiなどの塗装も可能です。(アクアエポレシリーズは塗装出来ません。)

● 溶剤系塗料のエポレ、メタルトップを塗装する場合、被塗面が素地、又は耐溶剤性が良い既存塗膜であることを確認してください。
塗装間隔を16時間以上(23 $^{\circ}$ C)取ってください。

● 水系塗料を塗装する場合は、塗装間隔を16時間以上(23 $^{\circ}$ C)取ってください。

● 屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

■ 素地: 亜鉛鉄板・カラートタン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23 $^{\circ}$ C)	塗装方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 素地は十分に乾燥させる。 					
下塗り	エポプラ	100	0.12~0.16	1~2	(工程内) 3時間以上 (工程間) 16時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレSi 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

● 上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ルーパリアシリーズ、ビーズブルーシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。(アクアエポレシリーズは塗装出来ません。)

● 溶剤系塗料のエポレを塗装する場合、被塗面が素地又は、耐溶剤性が良い既存塗膜であることを確認してください。

塗装間隔を16時間以上(23 $^{\circ}$ C)取ってください。

● 水系塗料を塗装する場合は、塗装間隔を16時間以上(23 $^{\circ}$ C)取ってください。

● エアレス条件(一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■ エポプラの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.12~0.16kg/m²)を塗装して膜厚(28~40 μ m)を確保してください。

■ エッジ部、凹凸面(40 μ m以上)、さびが発生していた面などはエポプラを増し塗りしてください。

■ 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

塗装基準

項目	内容		
乾燥時間	5 $^{\circ}$ C	指触25分、硬化5時間	
	23 $^{\circ}$ C	指触15分、硬化3時間	
	30 $^{\circ}$ C	指触10分、硬化2時間	
塗装間隔	5 $^{\circ}$ C	弱溶剤系塗料の場合	6時間以上
		上記以外の塗料の場合	36時間以上
	23 $^{\circ}$ C	弱溶剤系塗料の場合	3時間以上
		上記以外の塗料の場合	16時間以上
	30 $^{\circ}$ C	弱溶剤系塗料の場合	2時間以上
		上記以外の塗料の場合	8時間以上

項目	内容
標準塗付量	0.12~0.16kg/m ² /回
標準膜厚	28~40 μ m
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希釈	なし

※乾燥時間は標準の数値です。塗装方法・塗装条件により多少の幅を生じることがあります。

水系1液反応硬化形エポキシ変性アクリル樹脂系さび止め塗料

水性ラスノンEPO

人と地球にやさしい、次世代の環境負荷低減となる1液反応硬化形水系さび止め塗料です。反応硬化により形成した強靱な塗膜は、高い防せい性を有する塗料設計となっています。

特長

防せい性

塩水噴霧およびサイクル腐食性試験において、優れた防せい力を示します。

水性・低臭

従来の溶剤系塗料に比べて、大幅に揮発性有機化合物や環境汚染物質の排出を削減することで、大気汚染や光化学スモッグなどの発生要因を抑制し、地球環境への負荷低減、環境配慮に繋がります。

水性ですので低臭です。

1液形

1液形水性さび止め塗料ですから保管・取扱い面で有利です。

乾燥性

速乾性ですので、3時間（23℃）のインターバルで上塗りができます。（屋根塗装の場合は塗装間隔を16時間以上確保してください。）

付着性

素材及び旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。トタンやアルミなどの非鉄金属にもご使用いただけます。

旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させることなく、安心して塗装できます。

上塗適合性

各種上塗り塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上げの制限を受けません。

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺・屋根など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板・亜鉛鉄板（溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっき）・カラートタン・ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板

注意：カラートタンは付着しづらいものがある為、表面を目粗し後、試験塗装を行い密着性を確認してから本塗装してください。

どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材・塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、Xカット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、適用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポレシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズ、ワイドルーフシリーズ、1液ワイドルーフセラシリーズ、1液ワイドビーズコートSiなど

水系：ユニシリーズ、水性無機コートSi、ルーフバリア水性シリーズ、ビーズコート（無機・F・Si）・ビーズルーフシリーズ、水性ベスコロSiなど

注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

荷姿・色相

容量：16kg・3kg

色相：白・グレー



白

グレー

（日塗IN-93近似）

（日塗IN-80近似）

※注）色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

防せい性試験（塩水噴霧試験）

・試験基材：軟鋼板 ・試験条件：塩水噴霧（240時間）さび止め膜厚40μm



水性ラスノンEPO



市販水性 さび止め塗料A



市販水性 さび止め塗料B



弱溶剤系1液形 さび止め塗料

塗膜性能

品質項目	結果	品質規格
容器の中の状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。
低温安定性(-5℃)	合格	変質しない。
塗装作業性	合格	支障がない。
表面乾燥性	合格	表面乾燥する。
塗膜の外観	合格	正常である。
上塗り適合性	合格	支障がない。
耐屈曲性	合格	折り曲げに耐える。

品質項目	結果	品質規格
付着安定性	合格	剥がれを認めない。
サイクル腐食性	合格	膨れ、剥がれ及び錆がない。
加熱残分 (%)	合格	50以上
塗膜中の鉛 (%)	配合せず	0.06以下
塗膜中のクロム (%)	配合せず	0.03以下
防せい性	合格	防せい性をもつ

JIS K5674鉛・クロムフリーさび止めペイント2種の品質規格に準じる

標準塗装仕様 (オール水系塗料による塗装仕様)

● 鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……アクリルシリコン樹脂仕上げ

■ 素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整2種)					
下塗り	水性ラスノンEPO 清 水	100 0~5	0.11~0.15	1~2	(工 程 内) 4時間以上 (工 程 間) 4時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	水性シリコンユニ 清 水	100 5~15	0.12~0.20	2	(工 程 内) 3時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

● 上塗りには、ワイドエポーレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、ユニシリーズ、ビーズコート(無機・F・Si)、水性無機コートSiなどの塗装も可能です。

● 屋根……アクリルシリコン

■ 素地：亜鉛鉄板・カラートタン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。 油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 ● 素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	水性ラスノンEPO 清 水	100 0~5	0.11~0.15	1~2	(工 程 内) 16時間以上 (工 程 間) 16時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ルーフバリア水性Si 清 水	100 3~10	0.12~0.15	2	(工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

● 上塗りには、ワイドエポーレシリーズ、ルーフバリアシリーズ、ビーズルーフシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。
本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。

● エアレス条件(一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■ さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■ 水性ラスノンEPOの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.11~0.15kg/m²)を塗装して膜厚(35~45μm)を確保してください。
エッジ部、凹凸面(40μm以上)、さびが発生していた面などは水性ラスノンEPOを増し塗りしてください。

■ 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

塗装基準

項目	内容
標準塗付量	0.11~0.15kg/m ² /回
標準膜厚	35~45μm
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス
希 釈	清 水 0~5%

JISK5621一般さび止めペイント2種

速乾ラスノン5621

防せい力・付着性・作業性に優れる経済的なさび止め塗料です。

特長

JIS K5621 2種適合品

JIS K5621一般用さび止めペイント2種適合品です。

1液・指定可燃物

1液で指定可燃物ですから保管・取扱い面で有利です。

旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させにくく、安心して塗装できます。

上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

低臭

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドです。

安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上げの制限を受けません。

荷姿・色相

容量：20kg

色相：ねずみ色・赤さび色



ねずみ色 (日塗工N-55近似) 赤さび色 (日塗工O9-30L近似)

※)色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

塗膜性能

試験項目	結果	品質規格
容器の中の状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。
塗装作業性	合格	支障がない。
表面乾燥性	合格(30分)	表面乾燥する。(8時間以内)
塗膜の外観	合格	正常である。
上塗り適合性	合格	支障がない。

用途

建築物：鉄鋼構造物・階段手摺など

プラント：各種タンク（外面）・パイプ類・ダクトなど

注意：シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

適用素地

鉄骨・鋼板

注意：亜鉛鉄板、ガルバリウム鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム板、カラートタン、どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材、塩化ビニル被覆鋼板には適用できません。

適用旧塗膜

合成樹脂調合ペイント・アクリル樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料

注意：事前に試験塗りをを行い、Xカット・布ガムテープ剥離試験を行ってください。十分な付着性が確保されていない場合は、適用できません。

適用上塗塗料

弱溶剤系：ワイドエポキシシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドシリーズなど

注意：仕上塗材、クリアーは塗装できません。

試験項目	結果	品質規格
耐屈曲性	合格	折り曲げに耐える。
付着安定性	合格	剥がれを認めない。
サイクル腐食性	合格	28サイクルで剥れ、さび及び剥がれがない。
加熱残分(重量分率%)	79	70以上
防せい性	合格	6ヶ月の防せい性をもつ。

試験方法は、JIS K 5621 一般用さび止めペイント2種に準ずる。

標準塗装仕様（オール弱溶剤系塗料による塗装仕様）

素地：鉄鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	●ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。					
下塗り	速乾ラスノン5621 塗料用シンナー	100 はけ 0~5 エアレス 5~10	0.09~0.17	1~2	24時間以上 6ヵ月以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウレタン 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工 程 内) 4 時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

●上塗りには、ワイドエポキシシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズなどの塗装も可能です。

●本仕様の塗装間隔時間（24時間以上6ヵ月以内（23℃））は厳守してください。

●エアレス条件（一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上）

(注) ■さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■速乾ラスノン5621の塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量（0.09~0.17kg/m²）を塗装して膜厚（35μm以上）を確保してください。エッジ部、凹凸面（40μm以上）、さびが発生していた面などは速乾ラスノン5621を増し塗りしてください。

■塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

一般用さび止めペイント〈小面積用〉

速乾ラスノン

防せい力・付着性・作業性に優れる経済的な小面積用さび止め塗料です。

特長

JIS K5621 2種相当品

JIS K5621一般用さび止めペイント2種に相当する性能を有します。

1液・指定可燃物

指定可燃物ですから保管・取扱い面で有利です。

旧塗膜適合性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させにくく、安心して塗装できます。

上塗適合性

各種上塗塗料が塗装可能です。上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

低臭

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドです。

安全性

鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みませんので、安全性に優れます。

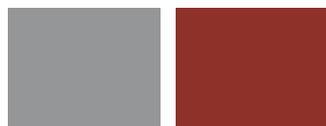
F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆で、内装仕上げの制限を受けません。

荷姿・色相

容量：4kg

色相：ねずみ色・赤さび色



ねずみ色

赤さび色

(日塗工N-55近似) (日塗工O9-30L近似)

※注)色見本は印刷ですので、現物とは若干の色差があります。ご了承ください。

塗膜性能

試験項目	結果	品質規格
容器の中の状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。
塗装作業性	合格	支障がない。
表面乾燥性	合格(30分)	表面乾燥する。(8時間以内)
塗膜の外観	合格	正常である。
上塗り適合性	合格	支障がない。

試験項目	結果	品質規格
耐屈曲性	合格	折り曲げに耐える。
付着安定性	合格	剥がれを認めない。
サイクル腐食性	合格	28サイクルで膨れ、さび及び剥がれがない。
加熱残分(重量分率%)	79	70以上
防せい性	合格	6か月の防せい(錆)性をもつ。

試験方法は、JIS K 5621 一般用さび止めペイント2種に準ずる。

標準塗装仕様 (オール弱溶剤系塗料による塗装仕様)

素地：鉄鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	● ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。					
下塗り	速乾ラスノン 塗料用シンナー	100 0~5	0.09~0.17	1~2	24時間以上 6ヵ月以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウレタン 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

● 上塗りには、ワイドエポレーシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズなどの塗装も可能です。

● 本仕様の塗装間隔時間(24時間以上6ヵ月以内(23℃))は厳守してください。

● エアレス条件(一般建築塗料用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■ さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■ 速乾ラスノンの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.09~0.17kg/m²)を塗装して膜厚(35μm以上)を確保してください。エッジ部、凹凸面(40μm以上)、さびが発生していた面などは速乾ラスノンを増し塗りしてください。

■ 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

塗装上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露の恐れがある場合および強風時は、塗装を避けてください。
- 塗装面が高温(50℃以上)の場合は塗装を避けてください。
- 常時浸水する部位には、使用を避けてください。
- 塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。
- モルタル等のアルカリ性素材、軟質の被覆網板への塗装は避けてください。
- 溶剤系・弱溶剤系塗料を塗装する時は、事前に使用するさび止め塗料の希釈溶剤で既存塗膜を拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
希釈溶剤で溶解やリフティングを生じるような既存塗膜に塗装すると、ふくれ等を発生することがあります。
- 使用前に十分かはんし、内容物を均一にしてから塗装してください。また、開封後はなるべく早く使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 主剤・硬化剤を正確に計量混合し、使用前にハンドミキサーを用い十分にかはんし、均一にしてから塗装してください。また、可使時間内にご使用ください。
- うすめすぎは、乾燥の遅れ、たるみ、膜厚不足による性能低下、仕上がりが不良を生じますので注意してください。
- 他の塗料や所定以外のシンナーの混合は避けてください。
- 水、異物の混入は絶対に避けてください。
- 塗装間隔は所定の時間を厳守してください。硬化が不十分な場合、再溶解する場合があります。
- 風通しの悪い箇所では、換気を十分に行ってください。
- エアレス塗装の場合、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- 水系塗料の塗装に用いた、はけ、ローラーなどの用具は早めに水洗いしてください。弱溶剤系・溶剤系塗料の塗装に用いた、はけ、ローラーなどの用具の洗浄には、スズカシンナー #1000または#2000をご使用ください。
- 素地調整が不十分な場合や塗付量が少ない場合、防せい性及び付着性が低下しますので、素地調整を十分行い、標準塗付量を必ず塗装してください。
- ゴムやプラスチック等の可塑剤を含む部位に直接接触すると軟化や剥離を生じることがありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- 皮膚に付着するとかぶれを引き起こすおそれがあります。肌に付着しないよう特に注意してください。
- 内部塗替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- はけ、ローラーなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、塗料ごとに専用でご使用ください。
- 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材に塗装しますと、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。

取扱い上の注意事項

- 換気の良い場所で使用してください。
- 居住者・隣家・車両などへ塗料ミスト、臭い、蒸気などが飛散しないような塗装方法を選ぶとともに、十分な養生を行ってください。
- 臭いは、食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるかまたは、養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水のいった容器に保管してください。
- 環境への放出を避けてください。
- 保護手袋・保護眼鏡・保護面・保護衣・呼吸用保護具を着用してください。
- 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸引しないでください。
- 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
- この製品を使用するときに、飲食しないでください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 皮膚(または髪)に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱いで取り除いてください。皮膚を流水・シャワー・石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診察を受けてください。口をすすいでください。無理に吐かせないでください。
- 火災・腐食・盗難・凍結などの恐れのないところに保管してください。
- 部外者や子供の出入りしないところに保管してください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
[雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所]
- 内容物や容器などは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。(排水溝・地面・河川などに流さないでください。)
- 容器を転倒させる・落下させる・衝撃を加えるまたは引きずるなど、粗暴な行為をしないでください。
- 塗料漏えいの原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 手環やバンドを用いて、高所への吊り上げ作業は行わないでください。
- 容器を手で持つ場合は、垂直に持ち上げて取り扱ってください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。安全データシート(SDS)は、当社ホームページよりダウンロードしてください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起すことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
※溶剤系塗料を使用する時は、上記の注意事項に合わせて下記事項に注意してください。
- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱作業場所には、局所換気装置を設けてください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。また、屋外で使用する場合は、家屋の換気口、空気取り入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
[有機ガス用防毒マスク又は送気マスク・頭巾・保護めがね・長そでの作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど]
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または、粉末消火器を用い初期消火をしてください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店



塗膜性能

試験項目	結果	規格・試験方法
容器の中での状態	合格	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。
乾燥時間 (h)	合格	16以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
ポットライフ	合格	5時間で使用できるものとする。
耐衝撃性	合格	衝撃による変形で、塗膜に割れ、はがれができないものとする。
上塗り適合性	合格	上塗りに支障があってはならない。
耐塩水性	合格	塩化ナトリウム溶液に浸しても異常があってはならない。

建築工事標準仕様書 塗装工事JASS18 M-109変性エポキシ樹脂プライマーに
基づく試験結果

試験項目	試験結果	規格・試験方法
塗装作業性	合格	はけ塗りで塗装作業性に支障がないこと。
耐屈曲性	鋼板 合格	直径4mmの折り曲げに耐えること。
	亜鉛鉄板 合格	
付着性	鋼板 0	クロスカット法、2mm角25個カット。
耐中性塩水 噴霧試験	鋼板 合格	5%食塩水噴霧、35℃、3000時間に耐えること。
	亜鉛鉄板 合格	
	さび面 合格	
耐水性	合格	水中浸漬14日間に耐えること。
耐酸性	合格	硫酸5%水溶液に7日間浸漬したとき異常がないこと。
耐アルカリ性	合格	飽和水酸化カルシウム水溶液に7日間浸漬したとき異常がないこと。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐えること。

標準塗装仕様

●素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。(JASS18鉄面素地調整3種) 海浜地区、工業地帯、腐食が著しい地域では、さびを入念に除去し、素地をあらわす (JASS18鉄面素地調整2種)。 					
下塗り	さびストップ スズカシンナー #1000	100 0~5※	0.18~0.24	1~2	(工 程 内) 3時間以上 (工 程 間) 3時間以上 7日以内	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドウォールSi 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工 程 内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

●上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ワイドシリーズ、1液ワイドウォールシリーズ、1液ワイドシリーズ、1液ワイドビーズコートSi、エポレ、ユニシリーズ、アクアエポレシリーズ、ビーズコート(無機・F・Si)などの塗装も可能です。

●溶剤系塗料のエポレなどを塗装する場合、塗装間隔を8時間以上(23℃)取ってください。

●水系塗料を塗装する場合、塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。

※塗装方法別の希釈率は下記「塗装基準」を参考にしてください。

●屋根……エポキシ・シリコン変性樹脂仕上げ

●素地：亜鉛鉄板・カラータタン・ガルバリウム鋼板

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 素地のさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。油類は溶剤がきで除去する。または高圧水洗で除去、清掃する。 素地は十分に乾燥させる。 					
下塗り	さびストップ 塗料用シンナー	100 0~5※	0.18~0.24	1~2	(工 程 内) 16時間以上 (工 程 間) 16時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレSi 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工 程 内) 16時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り/ローラー塗り エアレス塗り

●上塗りには、ワイドエポレシリーズ、ルーフパリアシリーズ、エポレ、アクアエポレシリーズ、ビーズルーフシリーズ、水性ベスコロSiなどの塗装も可能です。

本仕様の塗装間隔時間(16時間以上(23℃))は厳守してください。

●エアレス条件(一般建築塗装用エアレス機/一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

※塗装方法別の希釈率は下記「塗装基準」を参考にしてください。

(注) ■塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

■さび面では、ボルト箇所、エッジ、ケレン後の段差など、十分被膜するまで、さびストップを増し塗りしてください。(2回塗り以上)

■さび面では、さびストップを無希釈で塗装し、膜厚を確保してください。

■亜鉛めっき面に塗装する場合は、0.14~0.24(乾燥膜厚40~70μm)を塗装してください。

塗装基準

●旧塗膜面にさびストップを塗装する場合

旧塗膜	放置日数	下塗り (さび止め)
エポキシ樹脂塗料	+ ※7日以上	+ さびストップ
ポリウレタン樹脂塗料	+ 5日以上	
合成樹脂調合ペイント・ 塩化ゴム樹脂塗料	+ 10日以上	
アクリルアルキド樹脂塗料	+ 1ヵ月以上	

塗装方法	はけ塗り	ローラー塗り	エアレス塗り
希釈剤	スズカシンナー #1000		
希釈率 (%)	0~5	0~5	5~10

●乾燥時間

気温(℃)	5	23	30
指触乾燥	1時間	30分	15分
半硬化乾燥	5時間	2時間	1時間

●可使用時間

気温(℃)	5	23	30
可使用時間	12時間	8時間	6時間

注1) 塗装条件によりニジミ、チヂミ現象が生じる場合がありますので、事前にテスト塗りで確認してください。

※P140~150程度のサンドペーパーで研磨後塗装してください。